

第3学年 総合的な学習の時間学習指導案（A分類）

第3学年2組 31名
 授業者 教諭 富岡 佑太
 会場 体育館

1 単元名 身のまわりの役立つロボット（本時6／8）

2 本時の目標

【教科等】

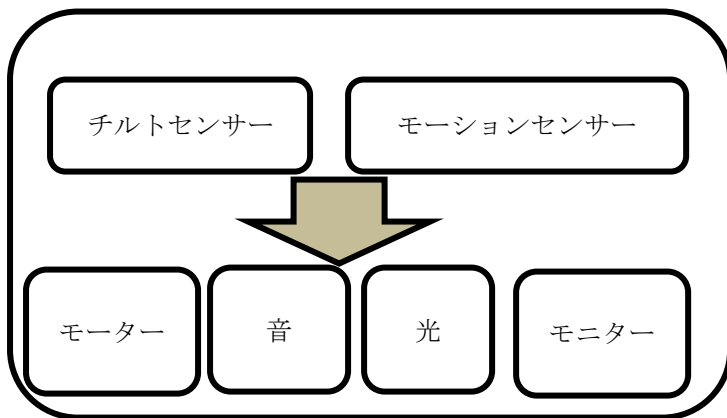
・友達と協力しながら、身の回りに役立つロボットについて、その構想図をもとにプログラミングを行い、実社会の様々なところでプログラミングが使われていることに気付く。

【プログラミング】

・各種センサーに反応し、想像した動きをすることができるようなプログラムを組む。

3 本時の展開

分	■学習活動	○指導上の留意点 □教科評価 ▲プログラミング評価
0	<p>■前時までの振り返りをする。</p> <p>・社会科の学習から、身近な生活について「よりよくするためにどのような工夫ができるか」ということをもとに、日常生活に役に立つようなロボットを作る計画をしていたことを確認する。</p>	<p>○ロボットを作る目的を想起させ、学習課題に対する意識付けを行う。</p> <p>○We Doを操作したことを振り返り、どのようなことができるのかを確認する。</p>
5	<p>■本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>設計図をもとに、 「おやくだちロボット」を動かそ</p> </div> <p>■設計図を見ながら、プログラミングを行う。</p> <p>・「チルトセンサーを用い、傾きを感知して音で知らせるロボット」のプログラミングを行う。</p> <p>・「モーションセンサーを用い、壁や人に近付いたら離れたり動いたりするロボット」のプログラミングを行う。</p>	<p>○グループで作業を行い、互いに協力しながらプログラミングを行うよう支援をする。</p> <p>○前時までの学習を想起しながら、どのようなプログラムを組めばいいのかということを考えさせる。</p> <p>○思ったように動かなかつたりどのようにすればよいか迷ったりしているグループについては、事前の学習でどのような機能を</p>



- 3 ■発表をする。
- 0 ・設計図とロボットを合わせて提示し、想定される場面とロボットの動きを見せ合う。
- 4 ■まとめと振り返りをする。
- 0 ・コンピュータを思い通りに動かすことについて、うまくいった点や難しいと感じた点について共有する。
- ・難しいと感じた点は次時にどのようにすれば解決することができるのかということについて、考えを出し合う。

使うことができたかを想起させる。

▲設計図をもとに、ロボットを思った通りに動かすことができるようにプログラミングを行おうとしている。(発言)

○発表の際には、実社会にどのように生かされるのか、そのためにどのような仕組みがあるのかということを確認するようにさせる。

○難しいと感じた点については、他のグループのアイデアや組み立て方を参考にすることを促す。

□実社会の様々なところでプログラミングが使われていることに気づき、説明している。(発言)